

JAOマスタースオーケストラ 初春コンサート

2024年1月8日(月・祝) 京都市北文化会館

13:30開場 14:00開演

京都市北区小山北上総町49-2 (キタオオジタウン内) TEL:075-493-0567

●市営地下鉄 「北大路駅」下車(出入口1番)

市バス 「北大路バスターミナル」下車

京都バス 「北大路駅前」下車

《プログラム》

第1部

●ガブリエリ：ピアノとフォルテ8声のソナタ Ch.175

●J.S.バッハ：管弦楽組曲第3番ニ長調 BWV1068より「G線上のアリア」

●レスピーギ：リュートのための古風な舞曲とアリア 第3組曲

第2部

●ボアモルティエ：5本のフルートのための協奏曲第2番

●ハイドン：天地創造より「神の御業は成し遂げられた」

●シュペール：4本のトロンボーンのソナタ

●シューベルト：バトルソング

第3部

●ハイドン：交響曲第101番ニ長調「時計」《フルートと弦楽四重奏版》

《講師》

Violin

●森 悠子 Yuko MORI

Violin

●富永 扶 Tasuku TOMINAGA

Cello

●柳橋 泰志 Taiji YANAGIBASHI

Flute

●矢野 正浩 Tadahiro YANO

Trombone

●呉 信一 Shinichi GO



MOC23 (前回のコンサート) 2023年1月9日 (c)Norikatsu Aida

🎵 入場無料 (要整理券)

【入場整理券申込み方法】

●はがき 〒441-8028愛知県豊橋市立花町46光陽ビル3F JAO内 初春コンサート係

●FAX 0532-33-6875 ●メール info@jao.or.jp

官製はがき、FAX、メールで、郵便番号、住所、氏名、電話番号、年齢、希望枚数を明記の上、お申し込みください。

お申し込みは先着順とし、入場整理券がなくなり次第終了させていただきます。応募締切は2023年12月20日(水)到着まで。

※ご記入いただいた個人情報は本コンサートのためにのみ使用します。その他の目的で個人情報を第三者に開示・提供いたしません。



主催：公益社団法人 日本アマチュアオーケストラ連盟(JAO)

協賛：サーラグループ・サーラエナジー株式会社

後援：京都府・京都新聞

講師プロフィール

Violin 森 悠子 Yuko MORI



教育哲学者・森昭の次女。6歳より才能教育でヴァイオリンを始める。桐朋学園大学卒業後、齋藤秀雄教授の助手を務めたのち、旧チェコスロバキア、フランスに留学。マリア・ホロニョヴァ、ミシェル・オークレールの各氏に師事。74年パイヤール室内管弦楽団入団。古楽器演奏の黎明期のパリで、本格的な古楽器の演奏に関わりレコーディングにも参加。

職歴：77～87年フランス国立新放送管弦楽団（現国立放送フィル）。89～96年リヨン国立高等音楽院助教授。99～04年ルーズベルト大学シカゴ芸術大学音楽院教授。09～17年くらしき作陽大学音楽学部教授。

活動：89年フランス国立高等音楽院の教育システムを取り入れ、教授陣を招聘して毎春開催する京都フランス音楽アカデミーを創案、翌年関西日仏学館（現アンスティチュ・フランセ関西・京都）にて開講、音楽監督に就任（～2011）。97年“若い音楽家の育成と実践の場”と“常に世界に発信する演奏団体”を目指し長岡京室内アンサンブル設立。09年自身の音楽理念を明確にするため特定非営利活動法人音楽への道CEMを設立、理事長に就任。演奏家のためのキャパシティビルディング講習会（初回2005年）や、子供のための音楽教育プログラム・プロペラプロジェクトを創設。毎年夏と冬に「子ども音楽道場」を、毎年1校小学校を訪問して「ヴァイオリンの体験学習」を開催（これまでに10校訪問）。15～17年指揮者飯森範親氏とオーケストラ・室内楽特別セミナーを行う。ヨーロッパではキャパシティビルディングinパリを2006年より毎夏開講するほか各地のマスタークラスに招聘される。

受賞歴：フランス政府より91年芸術文化勲章「シュヴァリエ章」、03年同「オフィシエ章」、02年「京都府あけぼの賞」、16年「第34回京都府文化賞功労賞」、17年「京都市芸術振興賞」。

著書に「ヴァイオリニスト 空に飛びたくて」（春秋社）がある。

日本マスターズオーケストラキャンプでは2004年、2006年、2013年、2019年講師担当。

Violin 富永 扶 Tasuku TOMINAGA



1998年生まれ。大阪府箕面市出身。3歳よりヴァイオリンを始め、故・工藤千博氏に師事。洛南高等学校附属中学校から洛南高等学校に進学し、京都大学文学部人文地理学専修卒業。在学中、京都大学交響楽団に入団をきっかけにヴァイオリンを再開し、同楽団のコンサートマスターを務めた。現在、森悠子氏に師事し、演奏芸術と教育実践について学んでいるほか、レジス・パスキエ、安紀ソリエール、クリストフ・ジョヴァニネッティ各氏のマスタークラス、京都フランス音楽アカデミーやしまなみ音楽祭などでも研鑽を積んでいる。第27回KOBE国際コンクール奨励賞。

Cello 柳橋 泰志 Taiji YANAGIBASHI



13歳よりチェロを始める。京都市立堀川音楽高等学校卒業。特待生入学し、作陽音楽短期大学卒業。チェロを雨田一孝、ドミトリー・フェイギン、野村朋亨の各氏に師事。室内楽をドミトリー・フェイギン、森悠子の各氏に師事。卒業後くらしき作陽大学演奏助手を務めた。現在は長岡京室内アンサンブルメンバーとして数多くの公演・録音等に参加。第1、2回飯森範親と森悠子のオーケストラ・室内楽特別セミナーに参加。2020年結成のせとうちカルテットメンバーとしても活躍している。

Flute 矢野 正浩 Tadahiro YANO



1987年第57回読売新人演奏会に出演。ザルツブルグモーツァルテウム音楽大学を経て、1990年旧西ドイツ国立トロッツィンゲン音楽大学大学院を最高点で修了。1992年フィンランド共和国ヨエンスウ市立管弦楽団に首席フルート奏者として入団、同時にシベリウスアカデミー音楽大学クオービオ校専任講師に就任。1996年より室内オーケストラ「アンサンブル神戸」を主宰し、自主公演は200回を数える。2001年より神戸21世紀混声合唱団を組織し指揮者となる。2007年1月NHK-FM名曲リサイタルに出演。2009年クルト・マズア指揮マスタークラス東京でアシスタントを務める。2017年3月ルーマニア国立オラデアフィルハーモニー交響楽団定期演奏会を指揮。2018年10月ジョージア国立トビリシ交響楽団定期演奏会を指揮、またトビリシで行ったフルートリサイタルは国営テレビで紹介される。1998年第2回松方ホール音楽賞大賞受賞。平成20年度神戸市文化奨励賞受賞。令和2年度神戸市文化賞受賞。

Trombone 呉 信一 Shinichi GO



大阪音楽大学卒業。大阪フィルハーモニー交響楽団に入団。1975年西ドイツ、デットモルト国立音楽大学に留学。大阪文化祭奨励賞、本賞を受賞。大阪フィルハーモニー交響楽団首席トロンボーン奏者として、20年間にわたる演奏活動の後、室内楽やソロの分野で幅広い演奏活動を行い、後進の指導にもあたっている。

現在、京都市立芸術大学名誉教授、相愛大学客員教授、大阪音楽大学客員教授。サイトウ・キネン・オーケストラ、ジャパンプラス・コレクション、いずみシンフォニエッタ大阪の各メンバー。

ハイブリッドトロンボーン四重奏団主宰。関西トロンボーン協会会長。2014年11月京都市文化功労者受賞。日本マスターズキャンプには初参加。今回は、第2日目と第3日目にご指導いただきます。

高円宮殿下メモリアル 日本マスターズオーケストラキャンプ

「高円宮殿下メモリアル 日本マスターズオーケストラキャンプ」(MOC・もっく)は、公益社団法人日本アマチュアオーケストラ連盟(ＪＡＯ・じゃお)が主催し、2000年に第1回を開催。第2回MOCに来臨された故高円宮殿下(当時ＪＡＯ総裁)は、MOCに格別の関心を示されました。MOCの前途に大きな期待を抱かれていた殿下のご遺志を尊重し、行事の名称に「高円宮殿下メモリアル」を冠しています。

当初はシニア世代の交流と演奏技術を向上をはかる研修会として、第12回からは各オーケストラのリーダーや次世代を担うリーダーを養成することも重要な目的として開催しています。